

日本特殊教育学会第46回大会「2008山陰大会」

一般公開企画(無料) 大会HP:<http://www.edu.shimane-u.ac.jp/jase46sanin/>

いとがかずお ぼつご つと 「糸賀一雄氏 没後40年の集い」

米子ビッグ・シップ2階「小ホール」先着3百人
(JR米子駅から徒歩約5分)

2008年9月20日(土)

[糸賀氏の略歴] 大正3年(1914年)鳥取市に生まれ、幼少期に米子で一時過ごした後、鳥取市に帰り日進小・二中(現・東高)に学ぶ。松江高校時代に鳥取教会で洗礼を受け、京都帝国大学で宗教哲学を修める。代用教員を経て滋賀県庁に勤めるも、昭和21年(1946年)同志とともに近江学園を設立。昭和43年(1968年)9月17日、講演で「この子らを世の光に」という言葉の途中で倒れ、翌18日に逝去(享年54歳)。筆名を「^{いなほいっぺき}因幡一碧」とするほどに故郷に愛着をもち、酒席で口にした歌も山陰の民謡が多かったという。～今年が没後40年にあたる～

(*講演に先立ってビデオ①の自主上映があります/12:00~約1時間)

パート① 13:00~14:30

ラストメッセージ・この子らを世の光に
—放映の背景とその後の反響—

まきの のぞむ
牧野 望(NHKディレクター)

パート② 15:00~16:30

糸賀一雄の魂と思想

たかや きよし
高谷 清(医師、「異質の光—糸賀一雄の魂と思想」著者)

(*講演の後にビデオ②の自主上映があります/16:40~約1時間)